

継続事業評価シート

評価実施日 令和4年3月31日

令和3年度(5年目)

Table with 10 columns: 事業コード, 51, 事業名, リスクマネジメント促進事業, 戦略コード, 1, 戦略名, 育て・挑戦を支える商工会, 担当部署, 事業振興部, 担当課名, 経営支援課, 担当課長名, 佐藤大輔, 施策コード, 1, 施策名, 巡回相談の質的向上による個社支援の強化

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

近年自然災害や新型コロナウイルスといった不測の事態が頻発していることから、リスクマネジメントの重要性が高まっている。

2. 事業のねらい

経営支援員による予備診断の実施と経営指導員によるBCP策定支援を円滑に進めるため、全国商工会連合会や損害保険会社からの支援ツール等を提供する。

3. これまでの評価結果

Table with 10 columns: 過年度, H29, -, H30, -, R1, -, R2, -

今年度より実施

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

今年度より実施

【取組評価】

Table with 7 columns: 取組コード, 取組, 実績, 必要性, 有効性, 効率性, 総合評価. Rows include 119, 120, 121.

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

Table with 17 columns: 取組コード, 120, 取組コード, 121, 取組コード, 指標名, BCP予備診断件数, 指標名, 事業者BCP策定支援件数, 指標名, 年度, H29, H30, R1, R2, R3, 年度, H29, H30, R1, R2, R3, 年度, H29, H30, R1, R2, R3

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 【取組評価】の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a

〈評価の理由〉

自然災害等に係るリスク回避・低減という課題に対して、BCPの策定は有効的な解決策の一つとなり得ることから、本事業は必要性が高い。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 【取組評価】の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

BCP策定支援を円滑に進めるという事業のねらいに対し、BCP策定件数が100件という成果を上げていることから、本事業は有効性が高い。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況 【取組評価】の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a

〈コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

全国商工会連合会や損害保険会社から情報や支援ツールの提供を受けての事業実施であったため、コストパフォーマンスは非常に高い。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 A

事業者の状況を的確に把握できる予備診断を実施してからのBCP策定であったため、効率的かつ効果的な事業実施となり、リスクマネジメントの理解が深まった。

3. 課題

BCPフォーマットは全国商工会連合会や損害保険会社等から提供されているが、小規模事業者には難しく実態には合わない内容も多く見られることから、小規模事業者に特化したフォーマットが望まれている。

4. 今後の対応方針(改善点)

小規模事業者のBCP策定を推進するため、損害保険会社との連携を図り、小規模事業者に特化したBCP様式を作成するとともに、災害時の影響を最小限に抑え、迅速な事業再開を可能にするオフィス機能を有した避難所の研究を行う。